

AD 1,000

AD 1
BC 1

BC 1,000

BC 2,000

BC 3,000

BC 4,000

BC 8,000

BC 10,000

縄文の流儀、

1万年の軌跡。

Detection from the Mekuratutsumizawa(III) Site
Zoku-Jomon Pottery

Detection from the Tamonokitai(I) Site
Initial Jomon Pottery

Detection from the Kushihiki Site
Incipient Jomon Pottery

J-MODE

in hachinohe region

2023.10.7_[土] ▶ 11.26_[日]

【開館時間】 9:00～17:00 (入館は16:30まで) 【休館日】 10月10(火) / 16・23・30(月)、11月13・20(月) / 24(金)

【入館料】 一般300円(180円) / 高・大150円(80円) * ()内は20名以上の団体料金、中学生以下無料

* 八戸市内在住65才以上の方は半額 * 障がい者手帳等をお持ちの方と同伴者1名は半額

【協力機関】 青森県埋蔵文化財調査センター、青森県立郷土館、八戸市美術館、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館、清水寺



八戸市博物館

〒039-1166 青森県八戸市大字根城字東構 35-1
Tel: 0178-44-8111 Fax: 0178-24-4557

J-MODE

in hachinohe region

縄文時代の八戸地域は、東北地方のなかで早くからヒトが住みついて集落が営まれた地域であり、縄文時代1万年の草創期から晩期にかけて遺跡が多くみつき、きれいなつくりの土器や土偶が多く、高度なもののづくりの文化が育まれています。

本展覧会は、当館開館40年及び「青森県櫛引遺跡出土品」の重要文化財指定を記念し、八戸地域の縄文遺跡でみつかった数ある出土品のなかから、北東北の縄文文化を語る上で欠かせない土器を集め、器のつくりやデザインからみえる縄文人の流儀について理解を深めるとともに、大正15年(1926)から新興した民藝運動によりつくられたやきものを通じ、先史時代から近現代へとつながる日本人のもののづくりを紹介します。

Events

ギャラリートーク

日時 令和5年
10月7日(土)・11月3日(金祝)・11月25日(土)
各日10時00分～、14時00分～

コレクショントーク (重要文化財 青森県櫛引遺跡出土品)

日時 令和5年
10月15日(日)・11月12日(日)・11月26日(日)
各日10時00分～、14時00分～

特別展講演会「縄文文化の魅力」

日時 令和5年11月5日(日)
14時00分～16時00分

講師 青柳 正規 氏
奈良県立橿原考古学研究所所長
元文化庁長官 文化功労者

会場 八戸市総合福祉会館 多目的ホール
(青森県八戸市根城八丁目 8-155)



①櫛引遺跡(草創期)、②田面木平(1)遺跡(早期)、③畑内遺跡(前期)、④石手洗遺跡(中期)、⑤牛ヶ沢(4)遺跡(後期)、⑥是川中居遺跡(晩期)、⑦田向冷水遺跡(弥生時代)、⑧盲堤沢(3)遺跡(続縄文時代)、⑨市子林遺跡(続縄文時代)
①～④当館蔵 ⑤～⑨八戸市埋蔵文化財センターは川縄文館蔵



八戸市博物館

Tel: 0178-44-8111 Fax: 0178-24-4557

